報道関係各位
プレスリリース

2024 年 12 月 25 日
株式会社 Liberaware

能登半島地震から 1 年の振り返りウェビナーを開催
（アーカイブ動画公開のお知らせ）
～災害現場での屋内点検ドローン活用から見えた教訓と展望～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、能登半島地震発生から 1 年を振り返るウェビナーを 2024 年 12 月 23 日に開催しました。本ウェビナーでは、屋内点検ドローン「IBIS2」の活用事例や災害対応における課題と展望を紹介しました。



※ウェビナーは終了しております

■ウェビナー概要

本ウェビナーでは、能登半島地震後の活動を振り返り、福井県庁や防災訓練の事例を基に、当社の技術が災害対応にどのように寄与したかを詳しく解説しました。また、今後の防災支援活動として、警察庁主導で取り組んでいる国家プロジェクト「災害時生存者捜索に係るドローン技術の開発(※)」についても共有しました。

■主なプログラム

- 屋内点検ドローン「IBIS2」および「TRANCITY」の紹介
- 能登半島地震後の災害現場での活動報告
- 今後の防災支援活動の展望

■ウェビナーアーカイブ動画

ウェビナーのアーカイブ動画を本日公開しました。以下の URL からご覧いただけます
https://youtu.be/H99t9xvVvVo

本ウェビナーを通じて、災害対応における技術革新と実践的な解決策を広く共有し、関係者の知見を深めることを目指しました。今後も当社は、防災分野での技術提供を通じて、当社のミッションである「誰もが安全な社会を作る」ことの実現に向けて邁進してまいります。

※「2024 年度 SBIR 推進プログラム(連結型フェーズ１)」のテーマ「災害時に生き埋めになった生存者を迅速に捜索するセンシング技術やロボティクス技術の開発」（課題設定元は警察庁）

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）
代表者：閔弘圭（ミン・ホンキュ）
所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1
設立：2016 年 8 月 22 日
事業内容：・産業分野に特化した非 GPS 型小型ドローンの開発
・IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発
・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス
・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス
・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）
URL：https://liberaware.co.jp/

〈本件に関するお問い合わせ先〉
株式会社 Liberaware　広報：向山
TEL：090-7195-4421 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com